



西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成21年(2009年)2月15日発行 第36号

＝発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311
＝編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

西東京市教育委員会研究奨励事業

研究指定校報告会を行いました



平成20年度西東京市教育委員会研究奨励事業「研究指定校報告会」が平成21年1月30日(金)に開催されました。

この報告会は、これからの西東京市の学校教育の課題の解決や新学習指導要領を踏まえた内容について研究を進めている研究指定校が、取組の具体的な内容などについて、報告を行うものです。

平成19年度から2年間をかけて研究に取り組んだ3校は、研究の内容や成果、課題について資料や映像などを活用して発表しました。

当日は、教員だけでなく保護者・市民など約600名の出席者があり、会場は熱気に溢れていました。

2年次校報告

保谷第一小 確かな学力の育成

学習の基礎・基本である「読み・書き・計算」の力を身に付けさせるための国語・算数の指導法の工夫、家庭と連携した学習・生活習慣を定着させるための取組みについて研究成果を報告しました。

国語では、言語能力を身に付けさせるために、音読や読書活動を充実させたり、漢字指導を重点的に行ったりしました。また、国語辞典の活用や言葉集めの活動を行うなどの指導の在り方を追究し、国語の基礎を培う指導法を明らかにしました。

算数では、計算能力を身に付けさせるために、朝学習の時間において定着を図るドリル学習を年間を通して継続的に行いました。また、算数の授業において、ノートの書き方を全校で統一し、学習課題に対して自分の考えをまとめたり、互いの考えを伝え合って考えを広げたり深めたりする過程を重視しました。これらの取組みにより、筋道立てて考える算数の基礎を培う指導法を明らかにしました。

さらに基礎的な学力の基盤として、学習・生活習慣を身に付けさせるために、家庭と連携して家庭学習の習慣づくりの取組みを行い、多くの成果をあげています。



芝久保小 ICTの活用

高度情報社会を生きる児童に、基本的な情報活用能力を身に付けさせること、ICTを活用した分かる授業・楽しい授業の実践を通して確かな学力を身に付けさせることを目指し研究を進めてきました。

昨年度は、ICT活用を「児童が活用する場」と「教師が活用する場」とに分け、教科ごとに児童の学びの変容を検証し、「コンピュータリテラシー学年別指導内容」一覧を完成させました。

今年度は、授業のねらいに迫るために、ICTの活用を「学習型」「発表型」「提示型」「通信型」の四つの型に分類し、授業を通して、効果的な指導方法を各学年・各教科で試みてきました。

当日は、「お話大好き」(第2学年・国語科)、「玉川兄弟と玉川上水」(第4学年・社会科)、「Pの扉を開こう(著作権)」(第5学年・総合的な学習の時間)、「アニメーションを作ろう」(第6学年・図画工作科)といった学年ごとの授業について、情報機器活用の効果と、児童の理解の深まりについて、報告が行われました。

また、「ICT」の意義とは、児童と児童、児童と教師の間で、「IT」(Information Technology)を活用することによって多くのかかわりが生まれる点にあり、このかかわりが「C」(Communication)を活性化させるものになる、という視点から、2年間の研究を通して明らかになった成果と課題についての報告も行われました。



1年次校報告

平成20年度から2年間、研究に取り組む6校は、中間発表を行いました。

保谷小学校

「生きる力をはぐくむトライアングル(知育・徳育・体育)の推進」を研究主題として、国語、道徳、体育を通して、語いを増やしたり、思いやりの心を育成したりするための指導方法を研究しています。



体育のタグラグビーの授業

向台小学校

筋道を表す「スジミチック」という授業改善のためのキーワードを決め、新学習指導要領で重視される言語活動について研究をしています。子供たちが、論理的思考力や表現力を身に付けるために必要な学習段階や内容を授業を通して開発しています。



国語の授業

泉小学校

算数の授業で考える力をはぐくむための指導法を研究しています。学んだことを活かして、自分の力で問題を解決できる子供を育成するための、算数の授業での発表場面具体的な方法について中間報告が行われました。基礎学習の充実にも取り組んでいます。



算数の授業での発表場面

青嵐中学校

西東京市が誇る青嵐中学校の施設・設備を有効活用することで、魅力ある授業づくりを進めています。また、学校評価を活かすことで、視聴覚機器を活用した授業保護者や地域との連携をより深めるための具体的な方法についても研究を進めています。



視聴覚機器を活用した授業

東小学校・明保中学校

昨年度、本町小学校・保谷中学校が行った小中連携教育をさらに進め、新学習指導要領の内容も検討しながら、よりよい連携の在り方を研究しています。両校の教員の情報交換会が、お互いの学校の指導内容や生徒指導についての理解を深めるのに、大変役立ったことが報告されました。



両校の教員の情報交換会

◆教育指導課 042 (438) 4075

栄小

食育を中心とした健康学習

栄小学校は、児童一人一人に健康の大切さを理解させ、自分の体や生活習慣を見つめ、改善を図ろうとする力を育成する研究を進めました。

昨年度は、「体力づくり」「食育」「保健学習」を視点として学校教育を見つめ直し、それぞれの年間指導計画を作成し、それに基づいた実践を重ねました。

本年度は、「食育」を中心として、「食について考え、実践できる子」を目指して研究を行いました。

道徳の授業では、学校給食を題材とし、給食調理員の努力や苦勞を知り、感謝して給食を残さず食べることが大切であることに気付かせました。総合的な学習の時間では、担任と栄養士が協力し、朝食・健康アンケート結果を基にバランスよく食べることの大切さについて学ぶ授業を行いました。社会科では、食の安全性について、体験活動を取り入れながら、複数の情報に基づいて自ら判断できる能力を身に付ける授業を行いました。さらに、家庭への食育に対する理解を深めるための啓発や連携も大切にするとともに、地域人材も活用し、児童の健やかな心と体の成長を支える充実した研究となりました。

